



2015年10月14日(水)

小栗キャップの News Letter

税理士法人オグリ 代表社員・税理士 小栗 悟

岐阜本部 〒500-8847 岐阜県岐阜市金宝町1-3 岐阜第一生命ビル 4F

TEL : 058-264-8858 FAX : 058-264-8708

名古屋本部 〒460-0002 名古屋市中区丸の内一丁目16-15 名古屋フコク生命ビル 6F

TEL : 052-222-1600 FAX : 052-222-1611

Email : info@otc-oguri.com <http://www.otc-oguri.com>

全体最適アプローチ

目標管理制度の目標達成プロセスで、確実に目標達成に向かっているのか、と確信が持てない状況になったり、混乱状態に陥ったりした場合に、全体最適アプローチによるプロセスの見直しが役立ちます。

全体最適アプローチの基準

プロセスの「全体最適アプローチ」は図示した通りで、目標達成プロセスに不具合が生じている場合は、そのどこかに問題があり、しかも複合的に絡み合っ問題が生じていることが多いようです。

全体最適アプローチ

目的

現状把握

現状分析：SWOT分析など

コンセプト・ゴール

目標・達成基準

成功要因・障害要因の把握と打ち手

それらを見直すためには、まず「コンセプト（何をどのような方向性で変化させ、あるべき姿に到達するのか）・ゴール（あるべき姿を取引の当事者構成・スキームとして可視化した図解説明）」の適切さを検証し、その後に、これを基準として、他の要因の適切さを評価、見直しを図るアプローチが

現実的であると言えます。その理由は見直しの中心に据えるべきプロセスは、あるべき姿と到達の基本方向を示した「コンセプト・ゴール」にあることが挙げられ、的を射た検証により混乱を避けられるからです。

コンセプト・ゴールの検証方法

コンセプトは、現状把握・現状分析の検証によって変化する可能性があります。例えば、当初予想していなかった、市場ニーズの変化等外部環境の変化、社内の人材・トップ方針の変化等があり、それらに基づくSWOT分析・クロスSWOT分析の内容に修正を要し、その結果「強みを機会に生かす」等コンセプトの修正が必要になり、ゴールの修正を要する、といったことも起こり得るからです。

全体最適化の実施

見直した「コンセプト・ゴール」を中心において、「目標・達成基準」「成功要因・阻害要因」「打ち手」の妥当性をチェック・検証することでプロセスの全体最適化、すなわちプロセスの混乱状態から脱出し、目標達成に確信が持てるプロセスを取り戻すことができます。



全体最適化はコンセプト・ゴールから！